

科目名	材料力学演習	英語科目名	Exercise in Strength of Materials
開講年度・学期	平成21年度・前期	対象学科・専攻・学年	機械工学科5年
授業形態	演習	必修 or 選択	選択
単位数	1単位	単位種類	学修単位(30+15)h
担当教員	川村 壮司	居室(もしくは所属)	機械工学科棟2階
電話	0285-20-2201	E-mail	t-kawamura@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 静力学の基礎が理解できていること。</li> <li>2. 引張り圧縮の問題が解けること。</li> <li>3. 応力、ひずみおよびフックの法則が使用できること。</li> <li>4. せん断とねじりの計算ができること。</li> <li>5. はりの曲げ問題が解けること。</li> </ol>			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標1～5: 試験での関連問題について60%以上の成績で達成とする。			
評価方法			
2回の試験(各90分)の相加平均と授業毎のレポートおよび小テストで評価する。			
試験は、ポケコンのみ持ち込み可。なお、参考書、コピー、携帯電話、ノート、メモ等の持ち込みは不可。			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目	自学自習時間	
1. 静力学についての問題	材料力学の復習をしておく	1	
2. 応力、ひずみ、フックの法則についての問題	レポートによる問題を解いてくる	1	
3. 応力、ひずみ、フックの法則についての問題	レポートによる問題を解いてくる	1	
4. 引張り圧縮についての問題	レポートによる問題を解いてくる	1	
5. 引張り圧縮についての問題	レポートによる問題を解いてくる	1	
6. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる	1	
7. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる	1	
8. せん断とねじり	レポートによる問題を解いてくる	1	
9. せん断とねじり	レポートによる問題を解いてくる	1	
10. はりの曲げ	レポートによる問題を解いてくる	1	
11. はりの曲げ	レポートによる問題を解いてくる	1	
12. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる	1	
13. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる	1	
14. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる	1	
15. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる	1	
自学自習時間合計			15
キーワード	静力学, 応力, ひずみ		
教科書	指定しない		
参考書	前年度までの材料力学で使用したもの		
小山高専の教育方針①～⑥との対応	④ ⑤		
技術者教育プログラムの学習・教育目標	(A-1) (B-1)		
JABEE 基準1の(1)との関係	(d-1), d(2-a)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	材料力学		
現学年の関連科目			
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
シラバス作成年月日	平成21年2月28日		